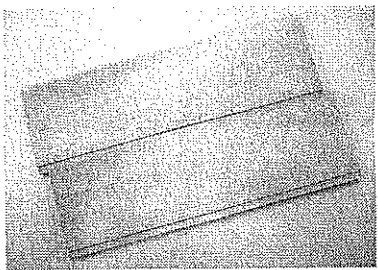


造作材製材の技術生かし

米ツガの柵目羽目板開発

代 万

木材の販売、プレカ
ング、腰壁として販売
ツトを行う万代（千葉
県柏市、遠藤又四郎社
長）は、造作材製材事
業の機能を生かし、米
ツガの柵目羽目板を開
発。これらをフローリ



開発された米ツガの柵目羽目板

開発された米ツガの
柵目羽目板は、幅11
0ミ、厚さ9〜15
ミ、長さ4尺が基
本サイズ。オスモ
塗装を施しての納
品も可能となつて
いる。
同社は、以前か
ら造作材製造機能
を持つており、自
社工場に9軸モル
ターを設備、超仕

上げ、サンダー仕上げ
の細かな表面加工がで
きる機能を生かし、オ
ーダーメイドで鴨居・
敷居、枠材、ケーシン
グなどの造作材の加工
を行っている。各物件
に合わせたカスタムで
の製造も可能。過去に
も様々な樹種で、高品
質のムクフローリン
グ、ムク羽目板の製
造、販売を行っている。
この実績を生かし米
ツガの柵目羽目板を開
発した。これは、杉、
桧などの国産材のほか
に柵目の物に焦点をあ
て、米ツガならばカス
タムカットによる目の
詰まった原料の確保が
可能であることから、

製造開発に至った。
同社の鶴澤取締役は
同製品について「柵目
のムクで使用してもお
となしく、フローリン
グなどに使ってもらう
と他樹種とは違う柵目
の良さを実感してもら
えると思う。良さを実
感してもらい、今後は
新築物件向けのみなら
ず、リフォームやマン
ション、店舗など様々
な用途で利用してもら
えるように提案してい
きたい。またこの製品
で他社との差別化も図
ってもらいたい」と話
しており、自社物件で
の使用以外にも、外販
に向けて積極的に販売
していく。